

審査項目と審査基準

審査項目			審査基準	応募申請書における依頼事項
大項目	中項目			
－	－		－	過去（2023年度、2024年度）採択された大学または機関からの応募の場合は、以下のA、Bいずれかのパターンに当てはまるか、お選びください。 ・当てはまるパターンに、チェックを入れて下さい。 A 過去採択内容と同様の取り組み B 過去採択内容と異なる取り組み ・Aに当てはまる場合は、以下の点を本申請書に記載してください。 「1-2 本プログラム活用の目的」で、本年度も同様の取り組みを提案する理由 「2 寄付金活用の計画」で、本年度取り入れる工夫点や取り入れる理由
1 本プログラム 活用の目的	1-1（1） 基礎研究力等の 現状と課題		申請大学等の研究力（特に基礎研究力）や次世代を担う研究者育成に関する現状認識と課題、課題に対する方針やこれまでの取り組み状況が明確であるか。	自大学の規模や研究力を前提としたうえで、大学の課題を分析・認識し、その課題に即した解決策を実現する観点で、本寄付金の活用方法を提案してください。 ・貴学の研究力、特に基礎研究力に関して、現状と課題を記載してください。 ・次世代を担う研究者の育成に関して、現状と課題を記載してください。 ・現状と課題に関する全学の方針や、これまでの取り組み状況を記載してください。これまでの取り組み状況を受けた成果に関し、定量的な情報があればその情報も記載してください。 【重要】 本項目は、他の項目よりも特に重要視して評価します。
	1-1（2） 基礎研究力等の 現状と課題を踏まえた 本プログラム活用の 位置づけ		1-1(1)に記載された基礎研究力等の現状と課題の中で、本プログラムの活用の位置づけが明確であるか。	・基礎研究力の向上や次世代を担う研究者の育成に関して、1-1(1)で記載した現状と課題、方針やこれまでの取り組み状況、さらに科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえた、本プログラム活用により特に解決を目指す課題や、活用により得たいと考えている効果を記載してください。 ・既存の学内研究支援の体制やプログラムと連動させる場合には、既存プログラム等の特徴と課題を示したうえで、本寄付金の既存プログラム等における位置づけや関係を示してください。 【重要】 本項目は、他の項目よりも特に重要視して評価します。
	1-2 本プログラム活用の 目的や取り組み内容		本プログラム活用の目的や取り組み内容が、1-1の記載内容および本プログラムの趣旨（幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者への支援）や特性（研究者直接ではなく研究マネジメントを対象に抛出する寄付金）に照らして妥当であるか。 （※）個別の研究テーマ等に関する目的ではなく、基礎研究力向上・研究者支援の観点からの目的を評価する。 （※）「A 過年度と同様の取り組み」に当てはまる場合は、本年度も同様の取り組みを提案する理由が明確であり、妥当であるかを考慮し評価する。	・1-1の記載内容および本プログラムの趣旨（幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者の支援）や特性（研究者直接ではなく研究マネジメント組織を対象に抛出する寄付金）を踏まえ、本プログラムに申請し、活用する目的や取り組み内容を記載してください。 （※）個別の研究テーマ等に関する目的や取り組み内容ではなく、研究力向上・研究者支援の観点からの目的や取り組み内容を記載ください。 （※）「過去の採択提案との関係性」でAにチェックを入れた場合は本年度も同様の取り組みを提案する理由をご記載ください。
2 寄付金活用の 計画	－		「A 過去採択内容と同様の取り組み」に当てはまる場合は、本年度の提案で取り入れる工夫点（昨年度の取り組みを基盤としたその充実・補完的展開など）や取り入れる理由が明確であり、妥当であるかを、その工夫点に触れられている項目において考慮し評価する。	（※）「過去の採択提案との関係性」でAにチェックを入れた場合は、本年度の提案で取り入れる工夫点や取り入れる理由を、その工夫が該当する項目欄へ記載してください。
	2-1 寄付金配分の計画		・寄付金を配分する研究者の人数や金額などの、寄付金配分の計画が具体的であるか。 ・寄付金配分に係る活動経費を寄付金の使途として想定している場合、その想定の原因や金額などが具体的であるか。	・寄付金を受け取った後、それを配分する研究者の人数や金額などの計画の想定を記載してください。 ・研究者への配分以外に、例えば研究力向上のための組織的な取り組みや基盤整備などの経費等を寄付金から抛出することを想定している場合、その理由や金額などを記載してください。
	2-2 配分プロセス・ スケジュール		研究者への寄付金の配分プロセス（募集・審査・配分等）やスケジュールが具体的であり、その中にプログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。	・寄付金を受け取った後、それを配分する全体プロセス（例えば募集・審査・配分等）の全体像やスケジュールを記載してください。
	2-3 研究者に配分する 寄付金の使途の想定		各研究者に配分する寄付金の主な使途やその理由が、本プログラムの趣旨および1-2記載のプログラム活用の目的に合致しており、効果的であるか。	・研究者に配分した寄付金について、その使途 ^(※) として想定する主なものを、その理由と共に記載してください。 （※）本プログラムの趣旨や科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえ、研究者の活動を支援する使途の分類（例：研究交流のための海外渡航費、研究室の補助人員雇用費、書籍購入費、等）を記載ください。個人・個別の研究に紐づいた使途（例：〇〇研究の成果発表のための学会発表）は記載しないでください。
3 寄付金活用の ための マネジメント体制 や方法	3-1 配分先の選定の ための体制や方法		・配分先を選定・決定する体制が具体的であり、プログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。 ・選定基準や考え方が、本プログラムの趣旨および1-2の記載のプログラム活用の目的に照らして、妥当であるか。	・配分先を選定し、最終的に決定する体制や方法を記載してください。選定基準や選定の際の考え方などが明確になっているようであれば、その背景と共に記載してください。 ・審査委員会等の会議体を設ける場合、その位置づけ・役割を記載してください。
	3-2 学内における マネジメントの ための利益相反 の体制や方法	(1)利益相反マネジメントに関する学内の一般的な体制について	・利益相反マネジメント規程・規則類は策定されているか。 ・利益相反マネジメント体制は妥当か。 ・外部有識者を含むCOI委員会が設置され、審査記録とフォローアップが残されているか。	・貴学における利益相反マネジメント体制および、利益相反マネジメント規程・規則の策定状況（名称・制定日・最終改正日）を記載してください。 ・また、貴学の利益相反マネジメントポリシー・規程類をWebサイトで掲載している場合は、そのURLを記載してください。 （※）本依頼事項を満たさない場合は、採択を見送る場合がございます。
		(2)学内にて本プログラムを審査を行う際の利益相反マネジメント体制について	・寄付金の配分候補者と第一三共との利害関係の把握方法や事案への対応策は、具体的かつ妥当か。 ・本寄付金の配分後も、配分対象者と第一三共との利害関係が把握できる適切なプロセスとなっているか。	・本寄付金の学内配分における利益相反マネジメント体制について記載してください。 ・また、寄付金の学内配分に関して、申請時・審査時のみならず、寄付金受取後も含めた期間*における配分対象者と第一三共との利害関係の把握方法や、そのマネジメント方法について、具体的に記載してください。 *原則、寄付金活用期間（応募要項8.記載）とする。 （※）本依頼事項を満たさない場合は、採択を見送る場合がございます。

審査項目		審査基準	応募申請書における依頼事項
大項目	中項目		
3 寄付金活用のための マネジメント体制や方法	3-3 寄付金の使用状況や 成果把握のための 体制や方法	寄付金の使用状況や寄付金による成果の把握のための体制や方法が具体的かつ効率的か。	・寄付金の使用状況や成果の把握の体制や方法を記載してください。 ※寄付金を配分した後、その内容の報告をお願いしています。（詳細は応募要項を参照。）
4 寄付金を 配分する部門の 体制整備	4-1 寄付金を配分する 部門の関連実績	本寄付金に類似する実績（学部・組織横断的な研究者支援を行った実績や、寄付金等の外部資金や学内資金を活用して研究者を支援した実績等）があるか。	・今回申請を行い、寄付金を配分する部門を中心とした学内の関連実績のうち、代表的なものを3件まで記載してください。 ・関連実績とは、例えば学部・組織横断的な研究者支援、あるいは寄付金等の外部資金や学内資金を活用した研究者支援等の実績を指しますが、この限りではありません。
	4-2 寄付金を配分する 部門の フォローアップ体制	4-1で示された実績等を受け、今回の提案の確実な実施を担保する体制整備があるか。	3-1で記載した「配分先を選定し、最終的に決定する体制」について、4-1の「寄付金を配分する部門の関連実績」を踏まえ、提案を確実に実施するための体制整備上の工夫などを記載してください。